

(提出方法と様式)

1. 原稿は、原則として、和文もしくは英文とする。
 2. 原稿は指定フォーマットを使用し作成する。
 3. 図・表等は、別紙に作成する。
 4. 図・表・写真等は図1, 表1, 写真1等の番号をつけ、本文中に朱書で挿入希望位置を明示する。
 5. 原稿は、正版3部、副版2部、合計5部提出する。
 6. 原稿には、表紙(様式1)をつけ、必要事項を記載して提出する。
表紙の記載事項：希望する論文の種類(総説, 原著, 研究報告, 実践報告, 資料, その他*), 論文題(和文・英文), 投稿者名と所属, キーワード, 欄外見出し, 文字数, 原稿ファイル名, 別刷希望部数など。
 7. 論文題には、英文題をつける。
英文題記載要領：文頭および固有名詞のみ大文字にし、それ以外は小文字で書くこと。
例. Smoking cessation and COPD mortality among Japanese men and women: the JACC study
 8. キーワードは、和文で5個以内とする。
 9. 原著には300語以内の英文要約および400字以内の和文要約をつける。また総説, 研究報告, 実践報告, 資料には400字以内の和文要約をつける。
 10. 原稿には、看護学部紀要投稿のための利益相反に関する申告書(様式2)をつけ、必要事項を記載して提出する。
 11. 原稿には、看護学部紀要投稿のためのチェックリスト(様式3)をつけ、必要事項を記載して提出する。
 12. 原稿には、看護学部紀要査読者希望申請書(様式4)をつけ、必要事項を記載して提出する(希望者のみ)。
 13. 英文で論文を投稿する場合は、ダブルスペースで作成する。また、ネイティブチェックの証明書を提出する。
- *投稿論文の種類「その他」には委員会報告等を含む。

(本文の標記法)

1. 章, 節, 等の数字は, I, 1, 1), (1), ①の順にする。
2. 句読点は「,」「.」を用いる。

(文献記載要領)

文献の記載方法は、アメリカ心理学会(APA)スタイルに従う。以下に、代表的な書き方を示すが、詳細は次の文献を参照すること。

アメリカ心理学会(2011). APA論文作成マニュアル第2版. 203-208, 医学書院

1. 本文中の文献記載方法

- 1) 他人の文献および自分が過去に発表した文献から直接引用したものは、一語一語正確に転記しなければならない。引用文がおおよそ和文120文字(3行程度)以内、または英文で40語未満であれば、和文では「」, 欧文では“ ”で引用文をくくり、その直後に引用文献を記す。

例. ケアリングは、「ケア提供者とケア受領者の相互作用により、両者が成長していく関係性である」(佐藤, 2015)と述べられている。

- 2) 引用がこれを超える場合は、ブロック引用(本文から離して表示)し、「」や“ ”はつけない。まず引用部分を改行し、左の余白から3文字分(英文5スペース)程度下げする。ブロック引用の最後に、出典とページを括弧つきで示す。

例. これに対し、次のように述べる者もいる。

(インデント3文字) パニック障害の患者の中には、不安・抑うつ発作を起こす者がみられる。……………
……………(佐藤, 2015, P109)

- 3) 著者が1人の場合は、著者の姓と発行年(西暦)を括弧でくくり、ふさわしい場所に挿入する。著者名が本文の一部として用いられる場合は、姓の直後に発行年だけを括弧内に表記する。同姓の第一著者による文献が複数含まれる場合は、発行年が異なっても、和文では第一著者の姓名、欧文では「名のイニシャル.姓」を、本文中の全ての引用に含める。

例. 佐藤 (2015) は, 「……」と定義している.

佐藤太郎 (2015) は, 「……」と定義している. (佐藤が複数いる場合)

Miller (2012) defined the concept as “.....” .

A. I. Miller (2012) defined the concept as “.....” . (Millerが複数いる場合)

- 4) 文献に2人の著者が存在する場合は, 文献が出現するたびに, 常に両方の著者名を表記する. 著者が3~5人の場合は, 文献の初出時に全員の著者名を表記し, 以降の引用では, 第一著者の後に「他」または「et al.」をつける. 共著者が6人以上いる場合は, 第一著者の姓だけを引用したそのあとに「他」または「et al.」をつける.

例. 最初の引用

佐藤, 山田, 田中, 吉田, 木下 (2015) は, 「……」と述べている.

Miller, Lombardi, Coley, and White (2012) found that “.....”

次からの引用

佐藤他 (2015) は, 「……」と述べている.

A previous study showed that “.....” (Miller et al, 2012).

- 5) 文章を要約, あるいは説明して引用する場合 (間接引用) は, 「 」や “ ” は用いない.

例. がん患者のセルフケアについては, ……や, ……が課題であることが知られている (佐藤, 山田, 田中, 2012, Burns & Bassett, 2016).

- 6) 本文中に翻訳書籍を引用する場合は, 原著者名, 翻訳. 翻訳本の発行年を記す. 初版 (原著) の発行年がわかっている場合は, それを引用に含める.

例. 和文 (Mahoney, 翻訳. 2015), Mahoney (翻訳. 2015)

欧文 (Abélard, trans. 2016)

原著の発行年がわかっている場合 Abélard (2000/2016)

2. 引用文献リストの記載方法

- 1) 文献リストには引用文献のみ記載し, 参考文献は記載しない. 文献リストは, 著者の姓のアルファベット順に列記する. 但し, 同著者の文献は発行年順に記載する. 同著者で発行年が同じ場合は, タイトルでアルファベット順に並べる (AとTheは除外する). 同著者で発行年が同じ文献がシリーズものである場合 (Part 1, Part 2など) は, タイトルのアルファベット順ではなく, シリーズ順に並べ, 小文字のa, b, c…を括弧内の年号の直後に置く. 文献が2行以上に及ぶ場合, 2行目を1文字下げる.

和文の場合

佐藤一郎 (2014). 愛知県におけるうつの実態. 愛知精神家族学会誌, 1, 66-69.

佐藤一郎 (2014). うつ患者の家族の体験. 愛知精神家族学会誌, 1, 1-5.

佐藤一郎 (2016a). 職場のメンタルヘルス:仕事とストレス対処能力. ストレス医学, 12, 108-111.

佐藤一郎 (2016b). 職場のメンタルヘルス:「心の相談」事業からみたメンタルヘルス対策の現状と課題. ストレス医学, 13, 1-5.

佐藤三郎 (2011). 自己効力感の研究動向. 愛知看護学会誌, 9, 88-92.

英文の場合

Miller, A. I. (2014). Nursing perception of cancer pain. *Oncology Nursing*, 31, 26-33.

Miller, A. I. (2014). Prevalence and characteristics of pain. *Palliative Care*, 10, 11-14.

Miller, A. I. (2016a). Neuropathic pain in cancer patients (part 1) : Pharmacological management. *Palliative Nursing*, 20, 218-222.

Miller, A. I. (2016b). Neuropathic pain in cancer patients (part 2) : Non-pharmacological management. *Palliative*

2) 著者名の書き方（一般的規則）

著者名は姓が前になるようにし、著者が1人の場合は、和文は「姓名。」欧文は「姓，名のイニシャル。」とする。著者が複数の場合は7人まで表記し、欧文では最後の著者の前に「&」を使う。8人以上の場合は最初の6人を記載したあとに、省略記号（...）を挿入し、最後の著者名を加える。

例. 佐藤一郎，山田二郎，田中三郎，吉田四郎，木下五郎，上原六郎，... 宮田末男。

Miller, A., Lombardi, B., Coley, C., & White, D.

Miller, A., Lombardi, B., Coley, C., White, D., Mahoney, E, King, F ... Walter, Z.

編集された書籍の著者名の書き方については、「iv」書籍，報告書等の非定期刊行物の引用」の項を参照する。

3) 雑誌等の定期刊行物の引用

和文雑誌の場合は、ローマ字および数字は半角文字を使用し、「-」「()」「」も半角とする。「,」「.」は全角とする。タイトルの最後にピリオドを打つ。英語論文のタイトルは、タイトルとサブタイトルの最初の文字の語頭と、固有名詞の語頭のみを大文字にする。タイトルはイタリック体にしない。雑誌名は原則として省略せず、イタリック体にする。雑誌が巻単位の通しページ番号でなく、号ごとにページ番号が振り直されている場合は、巻数の直後に括弧でくくって号数を記載する。

一般的書式

和文：著者名．（発行年）．表題．雑誌名，巻（号），最初のページ-最後のページ．

欧文：著者名（原綴りのまま Author, A. A.），第二著者名（同）．（発行年）．表題論文タイトル．

雑誌名，巻（号），最初のページ-最後のページ．

佐藤一郎，山田二郎，田中三郎．（2015）．うつ患者の家族の体験．*愛知精神家族学会誌*，1，1-5.

佐藤花子，鈴木空子，山田純子，... 田中美穂．（2015）．専門看護師の役割．*日本専門看護師学会誌*，1（3），10-20.

Schulz, J. B., Raschke, D., Dedrick, C., Johnson, N., Dickson, V., Taylor, K. J.,

...Walter Z. (2016). Effects of maternal employment on children's development. *Child Health Care*, 9, 118-123.

4) 書籍，報告書等の非定期刊行物の引用

タイトルはイタリック体にする。欧文書籍のタイトルは、タイトルとサブタイトルの最初の文字の語頭と、固有名詞の語頭のみを大文字にし、ピリオドで終える。ページを限定できる場合は、書籍名に続けてページを記載する。

和文・欧文：著者名．（発行年）．書籍名（pp. 最初のページ-最後のページ）．出版地：出版社名．

佐藤花子，鈴木空子．（2015）．*専門看護師の役割*（pp. 15-25）．東京：看護師出版．

Schulz, J. B., Raschke, D., Dedrick, C. (2016). *Nursing in the United States* (pp. 108-115). New York: Wall Press.

編者がいる場合の引用

編者がいる場合は、著者名の位置に編者の名前を記す。和文では、最後の編者名の後に「(編)」と記す。欧文では、最後の編者名の後に、編者が1人の場合は (Ed.)，2人以上の場合は (Eds.) と記す。編者が大勢の場合は、主な編者に続けて「他」「et al.」としてもよい。

山田純子, 田中美穂 (編). *日本の看護* (pp. 15-25). 東京: 看護師出版.
P. H. Tolan, & B. J. Smith (Eds.), *Contemporary children* (pp. 108-134). New York: Wall Press.

書籍の章などを引用する場合は、欧文では、章の著者の名前は「姓, 名のイニシャル」とし、書籍の編者は「名のイニシャル, 姓」とする。和文では、いずれも姓名の順番とする。

引用する章などの表題はイタリック体にせず、書籍名をイタリック体にする。ページの引用は、書籍名の後にする。

和文: 著者名. (発行年). 表題. 編者名(編), 書籍名(pp. 最初のページ-最後のページ). 出版地: 出版社名.
欧文: 著者名. (発行年). 表題. In 編者名 (Ed.), 書籍名 (pp. 最初のページ-最後のページ). 出版地: 出版社名.

佐藤花子, 鈴木空子. (2015). 専門看護師の役割. 山田純子, 田中美穂 (編), *日本の看護* (pp. 15-25). 東京: 看護師出版.

Berndt, T. J., & Savin-Williams, R. C. (2016). Peer relations and friendships. In P. H. Tolan, & B. J. Smith (Eds.), *Contemporary children* (pp. 108-134). New York: Wall Press.

翻訳本の場合の引用

翻訳本を利用する場合は、翻訳版を引用文献リストに記載する。和文の場合は、日本語のタイトルを記し、そのあとに括弧つきで(翻訳者の名前, 翻訳)と記す。欧文の場合は、(翻訳者名, Trans.)とする。

和文: 著者名(原綴りのまま). (翻訳の発行年). (翻訳者名, 翻訳). タイトル(pp. 最初のページ-最後のページ). 出版地: 出版社.

欧文: 著者名(原綴りのまま). (翻訳の発行年). (翻訳者名, Trans.). タイトル(pp. 最初のページ-最後のページ). 出版地: 出版社.

Haybron, D. M. (2015). (佐藤花子, 翻訳). *アメリカの専門看護師* (pp. 15-25). 東京: 看護師出版.
Abélard, U. A. & Ampère C. D. (J. G. Kohler, & A. R. Brown, Trans.). *Handbook of clinical research and practice* (pp. 200-210). Oxford: Wiley.

5) オンラインジャーナル文献の引用

インターネット上の文献については、オンラインジャーナル、公的機関のホームページ等、信頼できるサイトであることを確認して使用する。個人のホームページについては、原則として使用を認めない。

Digital Object Identifier (DOI) がついている文献は、それを記述する。DOIがない場合は、URLを記入する。DOIは、インターネット上の文書に恒久的に与えられる識別子である。

DOIのある学術論文の引用

著者名. (発行年). 表題. 雑誌名, 巻 (号), 最初のページ-最後のページ. doi: XX.XXXXXXXXXX

佐藤一郎. (2015). うつ患者の家族の体験. *愛知精神家族学会誌*, 1, 1-5. doi: 10.1000/psycho.aaaa.1000000

Kim, M. S., Lee, S. J., Kim, T. U. (2016). The influence of laterality of pharyngeal bolus passage on Dysphagia in hemiplegic stroke patients. *Annals of rehabilitation medicine*. 36(5), 696-701. doi: 10.5535/arm.2012.36.5.696

DOIのない学術論文の引用

和文：著者名. (発行年). 表題. 雑誌名, 巻 (号), 最初のページ-最後のページ. ページのURL
(検索日は記入しなくてよい. 最後にピリオドを打つかどうかは, URLの綴りに従う)

欧文：著者名. (発行年). 表題. 雑誌名, 巻 (号), 最初のページ-最後のページ. Retrieved from ページのURL

佐藤一郎. (2015). うつ患者の家族の体験. *愛知精神家族学会誌*, 1, 1-5. <http://ojs.lib.swin.edu.jp/index.php>

Kim, M. S., Lee, S. J., Kim, T. U. (2016). The influence of laterality of pharyngeal bolus passage on Dysphagia in hemiplegic stroke patients. *Annals of rehabilitation medicine*. 36 (5), 696-701. Retrieved from <http://anl.reh.med.us5535/arm.2016>

公的機関等のホームページの引用 (政府の報告書の場合)

和文：発行機関名. (発行年). 表題. ページのURL

欧文：発行機関名. (発行年). 表題. Retrieved from ページのURL

厚生労働省, 保健統計課保健統計室. (2016). 平成26年患者調査.

<http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/date/150/2002/toukeihyou/0004441/t0092030.html>

U. S. Department of Health and Human Services. (2016). Managing asthma: A guide for schools. Retrieved from <http://nhlbi.nih.gov/health/prof/asthma/pdf>.

6) 上記にかかわらず, EndNote, GetARef等の文献管理ソフトを使用する場合は, そのソフトにおけるAPA最新版を使用する. ただし, 和文に&などの欧文が表示される場合は, 削除する.

(様式1) 記要第27巻 投稿論文番号 〇〇号
(注:投稿者は投稿論文番号記入してください)

愛知県立大学看護学部紀要投稿論文表紙

希望する論文の種類:
 総説 原著 研究報告 実践報告 資料 その他

論文題
(和文): _____

論文題
(英文): _____

投稿者名: ① _____ ⑤ _____
 ② _____ ⑥ _____
 ③ _____ ⑦ _____
 ④ _____ ⑧ _____
 ⑨ _____ ⑩ _____

投稿者のローマ字名(注:名・姓の順で記入): (例) Aiko Tohoku
 ① _____ ⑤ _____
 ② _____ ⑥ _____
 ③ _____ ⑦ _____
 ④ _____ ⑧ _____
 ⑨ _____ ⑩ _____

ランニングタイトル: _____

文字数:
 ・ 要約 (※400字以内、本文には含まない) _____ 字
 ・ 本文 _____ 字
 ・ 図(1頁の25%未満サイズ) 200 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 図(1頁の25%~50%サイズ) 400 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 図(1頁の50%以上サイズ) 800 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の25%未満サイズ) 200 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の25%~50%サイズ) 400 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の50%以上サイズ) 800 字 × _____ 枚 = _____ 字
 合計 _____ 字

※ 総説・原著・研究報告:16,000字以内、実践報告・資料12,000字以内(図・表を含む)

別刷希望部数: _____ 部 ※ 別刷は有料となります

原稿ファイル名: _____

1

(様式2) 記要第27巻 投稿論文番号 〇〇号
(注:投稿者は投稿論文番号記入してください)

愛知県立大学看護学部紀要投稿論文表紙

投稿者の所属・担当課目:
(注:学内者は「愛知県立大学看護学部」()で科日名を記入、学外者は所属機関名のみ記入、投稿者番号に対応させること)

① _____ ⑥ _____
 ② _____ ⑦ _____
 ③ _____ ⑧ _____
 ④ _____ ⑨ _____
 ⑤ _____ ⑩ _____

キーワード: ① _____ ④ _____
 ② _____ ⑦ _____
 ③ _____ ⑩ _____

ランニングタイトル: _____

文字数:
 ・ 要約 (※400字以内、本文には含まない) _____ 字
 ・ 本文 _____ 字
 ・ 図(1頁の25%未満サイズ) 200 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 図(1頁の25%~50%サイズ) 400 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 図(1頁の50%以上サイズ) 800 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の25%未満サイズ) 200 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の25%~50%サイズ) 400 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の50%以上サイズ) 800 字 × _____ 枚 = _____ 字
 合計 _____ 字

※ 総説・原著・研究報告:16,000字以内、実践報告・資料12,000字以内(図・表を含む)

別刷希望部数: _____ 部 ※ 別刷は有料となります

原稿ファイル名: _____

2

(様式3) 記要第27巻 投稿論文番号 〇〇号 A
(注:投稿者は投稿論文番号記入してください)

愛知県立大学看護学部紀要投稿論文表紙

希望する論文の種類:
 総説 原著 研究報告 実践報告 資料 その他

論文題
(和文): _____

論文題
(英文): _____

キーワード: ① _____ ④ _____
 ② _____ ⑦ _____
 ③ _____ ⑩ _____

ランニングタイトル: _____

文字数:
 ・ 要約 (※400字以内、本文には含まない) _____ 字
 ・ 本文 _____ 字
 ・ 図(1頁の25%未満サイズ) 200 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 図(1頁の25%~50%サイズ) 400 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 図(1頁の50%以上サイズ) 800 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の25%未満サイズ) 200 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の25%~50%サイズ) 400 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の50%以上サイズ) 800 字 × _____ 枚 = _____ 字
 合計 _____ 字

※ 総説・原著・研究報告:16,000字以内、実践報告・資料12,000字以内(図・表を含む)

3

(様式4) 記要第27巻 投稿論文番号 〇〇号 B
(注:投稿者は投稿論文番号記入してください)

愛知県立大学看護学部紀要投稿論文表紙

希望する論文の種類:
 総説 原著 研究報告 実践報告 資料 その他

論文題
(和文): _____

論文題
(英文): _____

キーワード: ① _____ ④ _____
 ② _____ ⑦ _____
 ③ _____ ⑩ _____

ランニングタイトル: _____

文字数:
 ・ 要約 (※400字以内、本文には含まない) _____ 字
 ・ 本文 _____ 字
 ・ 図(1頁の25%未満サイズ) 200 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 図(1頁の25%~50%サイズ) 400 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 図(1頁の50%以上サイズ) 800 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の25%未満サイズ) 200 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の25%~50%サイズ) 400 字 × _____ 枚 = _____ 字
 ・ 表(1頁の50%以上サイズ) 800 字 × _____ 枚 = _____ 字
 合計 _____ 字

※ 総説・原著・研究報告:16,000字以内、実践報告・資料12,000字以内(図・表を含む)

4

(様式2)

看護学部紀要投稿のための利益相反に関する申告書

年 月 日

筆頭著者名: _____

論 文 題: _____

(著者本人について利益相反状態を記載。)

該当事由	該当の有無 (受け取っている 場合は有とする)	経済的利益関係の 具体的内容・金額等 (有の場合に記載)
1. 給与等 (非常勤講師としての給与を除く) ※同一組織からの報酬額が年間 100 万円を超える場合が該当する。	有 ・ 無	
2. コンサルタント料や謝金等のサービス対価 (国、地方公共団 体、独立行政法人等の公的機関から受け取る謝金等を除く) ※同一組織からの報酬額が年間 200 万円を超える場合が該当する。	有 ・ 無	
3. 受託研究費 (研究員受け入れを含む)、研究助成金、依頼試 験料、実験器具等の物品 ※同一組織からの報酬額が年間 200 万円を超える場合が該当する。	有 ・ 無	
4. 特許の実施料収入等 ※同一組織からの報酬額が年間 200 万円を超える場合が該当する。	有 ・ 無	
5. 株式等 (未公開株を含む)	有 ・ 無	
6. その他教職員等による公正且つ客観的な研究を困難にするもの	有 ・ 無	

以上、看護学部紀要論文の投稿を行うにあたって、利益相反について確認しました。

著 者 (自署): _____

5

(様式3)

看護学部紀要投稿のためのチェックリスト

投稿する前に、下記項目に沿って原稿を点検し、原稿に添付け、原稿に添付して提出してください。下
記項目に従っていない場合は、論文を受理しないことがあります。

記

□ 1. 投稿論文について、投稿規程、執筆要領にしたがって作成している。
□ 筆頭著者は愛知県立大学看護学部紀要投稿規程の第3条に該当する。
□ 原稿枚数は希望する原稿種類の規定枚数の範囲内である。
□ 図・表の文字数換算は適切である。
□ 図、表、および写真、図 1、表 1、写真 1 などの番号をつけ、本文中に朱書きでそ
れぞれ図、表、写真挿入希望位置を指定している。
□ 投稿論文表紙に所定事項に必要な項目をすべて記入している。
□ 原著の場合は 400 字以内の和文抄録と 300 words 程度の英文抄録、総説・研究報告・
資料の場合は 400 字以内の和文要約をつけている。
□ 看護学部紀要投稿のための利益相反に関する申告書 (様式2) をつけている。
□ 文献の記載方法は執筆要領に従っている。
□ 引用文献リストの表記は執筆要領に従っている。
□ 投稿論文の副題には本文、引用文献、謝辞および抄録 (和文・英文) から、氏名、所属
ほか投稿者を特定できる事項を削除している。
□ 英文での投稿の場合はネイティブチェックの証明書をつけている。

□ 2. 投稿にあたり、以下の不正行為防止に留意している。
□ 投稿論文について、捏造 (存在しないデータ・研究結果等を作成する)、改ざん (デー
タ、研究結果等を真正でないものに加工する) 及び盗用 (他の研究者のアイデア、分
析・解析方法、データ、研究結果等を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用
する行為) をしていない。
□ 二重投稿: 投稿論文と同様の内容の論文を他誌に投稿 (査読中の論文を含む) してい
ない。
□ 二重投稿: 既発表の論文との差異が明確に記載されていない新たな論文を、紀要に投
稿していない。
□ 二重投稿: ある言語で発表した論文を他の言語に翻訳して投稿していない。
□ 不適切なオーサリング: 著者としての資格を有しない者を著者として含める行為。
あるいは著者としての資格を有する者を除外する行為をしない。
□ 投稿論文は、現在作成中の学位論文の主要な結果となる部分と重複していない。

6

□ 以下に該当する場合は論文中に付記している。
・大学の学士論文・修士論文・博士論文 (既に機関リポジトリに全文を公開してい
る論文は除く)
・科学研究費補助金報告書、事業報告書、学会等の学術講演、学会・研究会の抄録集に
発表した研究

□ 分割投稿 (サブリ投稿: 1 つの論文で発表可能な研究を分割し、同じ研究データを用
いて複数の研究結果を報告する) をしていない。
□ 著作権を侵害 (既存の尺度・介入プログラム等を著作権者への使用許諾なく使用・
改変したり、自身の論文に転載したりする) していない。
□ データを二次利用した論文の場合、二次利用であることを記載している。
□ 資金の助成を受けている場合は論文中に記載している。

□ 3. 倫理的配慮を要する研究は、研究倫理審査の承認を受け、承認番号を本文中に明記して
いるとともに、投稿論文の内容は研究倫理審査を申請したときの内容 (テーマ、研究目的
等) と同様である。

□ 4. 共著者全員から著作権及び電子情報化など 2 次的使用に関する権利の譲渡について承
諾を得ている。

上記項目にすべて該当することを確認しました。

年 月 日

筆頭著者 (自署): _____

7

(様式4)

看護学部紀要 査読者希望申請書

研究推進委員会委員長 殿

年 月 日

筆頭著者 (自署): _____

本論文の査読者として、以下の教員を希望いたします。

査読者として希望する教員名

1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

5. _____

※ 教授・准教授の教員をご記載ください。
(希望なしの場合、様式4は提出不要です)

8

記号第 27 巻 投稿論文番号 番
(注:投稿者は投稿論文番号を記入しないこと)

(学外者が筆頭で応募する場合に提出)

連絡票

筆頭著者: _____

郵送先	〒 _____
電話番号	_____
メールアドレス	_____

※ 本連絡票にご記入いただいた内容は、投稿論文の査読結果や著者校正原稿の送付、及び紀要編集作業において筆頭著者本人に連絡を取る必要がある場合のみ利用いたします。